



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第32巻第5号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第32巻第5号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1986, 32(5): 788-788

ISSUE DATE:

1986-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118806>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 5 ACTA UROLOGICA JAPONICA May 1986

泌尿器科紀要

第32巻 第5号 1986年5月

ポリアミンテストエンザイムによる尿路性器癌患者における

尿中ポリアミンについて……………酒井 俊助・ほか… 661

尿路結石関連物質の日内変動の検討……………戎野 庄一・ほか… 667

顕微鏡的血尿の位相差顕微鏡における形態的検討……………佐藤 和彦・ほか… 673

尿路性器結核の臨床的観察……………野口 純男・ほか… 679

疼痛緩和を目的とした尿路上皮癌転移病巣に

対する動脈塞栓術の経験……………神波 照夫・ほか… 685

腎外傷の診断について……………飯塚 典男・ほか… 691

急性単純性膀胱炎と再発

—化学療法後の再発判定基準について—……………荒川 創一・ほか… 697

膀胱癌患者の細胞性免疫能に関する研究

第11報：specific ADCC activity について……………西尾 正一・ほか… 713

非同期発生の両側腎細胞癌の1例……………小林 幹男・ほか… 721

副腎嚢腫の1例……………末盛 毅・ほか… 729

副腎 Ganglioneuroma の1例……………中川 泰始・ほか… 735

Pyeloureteritis cystica の1例……………米田 尚生・ほか… 740

馬蹄腎，下大静脈後尿管および右腎盂尿管移行部狭窄を

合併した1例……………田口 恵造・ほか… 745

妊娠に合併した腎細胞癌の1例……………大場 修司・ほか… 751

Oncocytoma 様所見を呈した内分泌非活性型副腎皮質腺腫の1例

（英文）……………垣本 滋・ほか… 757

巨大尿管症の1例……………岡野 学・ほか… 764

H-Y 抗原陽性であった46, XX 真性半陰陽の1例……………中村 正広・ほか… 769

Periarteritis Nodosa of Epididymis……………澤田 佳久・ほか… 773

難治性（特に緑膿菌による）複雑性尿路感染症に対する

Cefmenoxime と Cefsulodin の併用療法……………石神 襄次・ほか… 779

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿: 連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿: 泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
(例: 山田・ほか: 前立腺がん・PSAP)
 - (4) 英文抄録: 和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、
- 編集委員・ 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主 幹)
- トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例: 山田^{1,3,7)}, 田中^{1,3-10)}によると)
- 雑誌の場合—著者名(全員): 題名。雑誌名
巻: 最初頁~最終頁, 発行年
単行本の場合—著者名(全員): 題名, 書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第32巻 第5号 1986年5月25日 印刷 1986年5月31日 発行

発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入